



浄化センターのしくみと役割についての授業が開始

テーマ

Theme

「水の再生」出前授業

学校・園名

School name

多賀町立大滝小学校

講師等

Lecturer etc.

滋賀県北部流域下水道事務所
東北部浄化センター

実施日

Date

令和2年 7月2日

教科等

Subject etc.

社会科（4年生）

授業

Class



4年生社会科、「住みよいくらしをつくる」の学習の一環として、東北部浄化センターの所員による出前授業の形で連携授業が実施されました。

まず、「浄化センターってなに？」をテーマに、センター所員からその役割や汚水の処理方法等について説明がありました。その後、説明をまとめる形でVTRアニメを視聴し、下水道の仕組みについて楽しく理解を深めました。

授業後半は、体験型の授業が展開されました。その内容は、汚水と処理水とのにおい比較体験、顕微鏡を使った微生物観察、水に対するトイレtpーパーとティッシュペーパーの溶解度比較実験などでした。汚水の処理に欠かせないものは「微生物」。これが本時のキーワードとなり、その微生物を実際に顕微鏡で観察する活動を通して、児童たちの興味関心が高まってきました。

授業の終盤に質問の時間が設けられました。児童たちは積極的に挙手し、「働く中で一番大変なことは何ですか。」「毎日どんな気持ちで水をきれいにしているのですか。」「工場の目標はありますか。」など、熱心に質問していました。

小学校4年生では、上水道とごみ処理をセットに学習されていることが多いようですが、「水の再生と循環」に視点を当てた学習をしようとした場合、浄化センターによるこの度のような出前授業はたいへん有意義であると感じられました。

感想

Impression

on

児童より Impression from

■「水をきれいにするためには、び生物が大事だということがわかった。」「こんなに小さい生物のおかげで水がきれいになっていることをはじめて知った。」「あんなに臭い水（浄化センターに届いた汚水）がとても美しくなっているのにビックリした。」「おじさんたちは、琵琶湖をいつまでもきれいにしておきたいと言う気持ちで仕事をしていることがわかった。」など、この度の授業を通して気づき感じたことをつぶやいていました。

学校より Impression from

■今回新型コロナウイルスの影響で浄化センターに足を運ぶことができず、連携授業をお願いしたのですが、実際に行かなくてもパワーポイントや実験などで非常に分かりやすく説明をしてくださり、有意義な時間となりました。スムーズに進行してくださり、お願いして良かったなと感じています。

■とくに水を綺麗にしているプランクトンの観察が気に入ったようで、「こんなに小さい生物のおかげで水がきれいになっているんやなあ。」と感心してる児童が多かったです。

講師より Impression from

■子供たちは我々の話をよく聞き、興味も持ってもらえたと思います。下水道の役割を通じて、水の大切さも理解してもらえたかと思っています。あとは、日ごろの実践を少しでも心掛けてもらえれば今回出前授業の成果と使命が果たせたものと思っています。

■子供たちへは今日の授業を通じ、将来にわたり日頃から水の大切さ・ありがたさを感じながらさらに環境全般に関心を持ち続けてほしいと思います。